

2024年10月11日

放射線腫瘍科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 先進医療陽子線治療患者の統一治療方針による観察研究—全国症例登録—

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究代表機関名・研究代表者名・所属]

北海道大学大学院医学研究院放射線治療学教室、教授 青山 英史

[共同研究機関名・研究責任者名]

別紙に記載

[当院の研究機関名・長の氏名] 筑波大学附属病院 平松 祐司

[当院の研究責任者名・所属] 陽子線治療センター 櫻井 英幸

[研究の目的]

既存治療の代表的治療成績との比較のための陽子線治療成績を収集するため。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

全国の陽子線治療施設で該当の1年間*に陽子線治療を施行された方（ただし、小児腫瘍の患者さんを除きます。）

※ 2016年度は、2016年5月1日～2016年6月30日

2017年度は、2016年7月1日～2017年6月30日

2018年以降、前年度の7月1日～該当年度の6月30日

○利用するカルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、陽子線治療・有害事象に関する情報

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果の一部の情報は、先進医療会議への提出するため、日本放射線腫瘍学会の管理する放射線治療症例全国登録に提供する他、学会や学術雑誌への発表、国内外の規制当局への報告に用いますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。なお、本研究は筑波大学附属病院臨床研究倫理審査委員会にて承認されております。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

茨城県つくば市天久保2丁目1-1

筑波大学陽子線医学利用研究センター 担当医師 水本斉志

電話 029-853-7100 (直通) FAX 029-853-7102

別紙 共同研究機関名・研究責任者名

北海道大学病院 青山 英史
脳神経疾患研究所附属南東北 がん陽子線治療センター 村上 昌雄
筑波大学附属病院 櫻井 英幸
国立がん研究センター東病院 秋元 哲夫
相澤病院 荒屋 正幸
静岡県立静岡がんセンター 村山 重行
名古屋市立西部医療センター 荻野 浩幸
福井県立病院 玉村 裕保
兵庫県立粒子線医療センター 沖本 智昭
メディポリス国際陽子線治療センター 荻野 尚
津山中央病院 脇 隆博
札幌禎心会病院 晴山 雅人
大阪陽子線クリニック 山本 道法
神戸陽子線センター 副島 俊典
成田記念陽子線センター 柳 剛
北海道大野記念病院 岸 和史
高井病院 井上 和也
京都府立医科大学附属病院 山崎 秀哉
湘南鎌倉病院 徳植 公一